

大子中学校だより

ポータルサイト<https://www.daigo.ed.jp/page/dir000009.html>

夢に向かって挑戦し、手応えを実感する



文責 校長 長山 芳子  
大子町立大子中学校  
久慈郡大子町池田1648  
TEL 72-0158, FAX 72-0461

## 2年連続 東関東吹奏楽コンクール出場 ～銅賞受賞！合同バンドとしての出場は東関東コンクール史上初～

本校吹奏楽部は、今年度3年生5名、2年生8名、1年生5名合計18名でスタートしました。そんな矢先、城里町立常北中学校から、「合同バンドを組んでもらえないか」と相談があり、様々な思いや不安、葛藤がある中、合同でコンクールに出場することになりました。実は、今年4月、東関東吹奏楽連盟が初めて「部活動の地域移行に鑑み、学校間の合同バンド、地域において活動しているバンドのコンクール参加を認める」という決定をしました。つまり、今までは、合同バンドで出場できるのは茨城県吹奏楽コンクールまででしたが、今年から、東関東吹奏楽コンクールまで門戸が開かれることになったのです。



この半年間、週末毎にどちらかの学校に移動して、練習を重ねての練習を続けてきました。移動距離片道約45km。時間にして往復2時間。平日は、パート練習が中心となり、全体で合わせられるのは週末だけです。生徒はパート毎に声を掛け合って課題となっている点を解決したり、休みの日には楽器を持ち帰って練習したり、努力を重ねてきました。そして、7月22日の中央地区吹奏楽コンクールで優秀賞(県コンクールに推薦)、8月11日の茨城県吹奏楽コンクールで金賞、東関東吹奏楽コンクールへの切符を手に入れました。本校が出場する中学校B部門(生徒数30人以下で参加)には茨城県内で163団体が参加し、この切符を手に入れるのはたった8団体でした。

第29回東関東吹奏楽コンクールは、9月16日(土)神奈川県横須賀市で開催されました。このコンクール中学校B部門には35団体が参加しましたが、今年解禁になった合同バンドは、大子中・常北中の1校のみでした。それだけ合同バンドでの出場が許されても、選ばれるのは難しいということでしょう。唯一選ばれた本校の吹奏楽部は歴史に残る偉業を成し遂げました。

12:30いよいよ演奏開始、曲は「ムジカ・アーヴァース～ウインド・アンサンブルのために」。一人一人の力を発揮し、素晴らしい演奏が会場いっぱいに広がりました。演奏後ステージ上で胸を張って立ち上がった一人一人と尾花教諭の堂々とした姿に眩しさと頼もしさを感じました。結果は銅賞を受賞し、審査員の先生方から、以下のような講評をいただきました。抜粋して掲載します。

「一体感があり、高い音楽センスを感じました。」

「先生の指揮が明確で、どんな音楽を求めているか後ろ姿から伝わりました。」

「各ソリスト素晴らしいです。というよりも少人数ですので、きちんと全員がソリストのようにしっかりと役割があり、それをこなしていたのが素晴らしいと思いました。」

「合同バンドでこの精度は立派ですし、大変な努力です。熱いスピリットを感じました。」

吹奏楽部のみなさん、感動をありがとうございました。そしてこれまで活動を支えてくださった保護者のみなさま、たくさん応援して下さった地域みなさま、公用バスでの移動や大会参加に当たり資金面で多大な援助をして下さいました大子町に感謝します。ありがとうございました。

## 新人戦に、限界突破で、力の限りCHALLENGE！！

9つの運動部活動が9月12日(火)～15日(金)の那珂大子地区新人体育大会に参加しました。運動部は、中学校体育連盟(以下中体連)に所属しており、その中体連が主催する大きな大会が年に2回あります。新体制になってから、1つめが9月～10月の新人体育大会(以下新人戦)と2つめが5月～7月の総合体育大会(以下総体)です。

3年生を中心とした体制の総体終了後に、2年生を中心とした新体制を立ち上げ、それぞれの運動部活動で目標を掲げ、その目標達成のために、何をするかを仲間と共有しながら、今年の暑い夏の日も練習に励んできました。生徒たちには、目標に向かって、今の力を自分の限界まで100%出し切って、挑戦することで、自分のすべきこと、やりたいことが明確になってくると話しました。私たち教職員も日々生徒たちのそばでかかわれることの楽しさ、やりがいを感じながら、生徒の成長に伴走していきます。新人戦参加に当たって、保護者のみなさまには、早朝の送迎や様々な準備のサポートにご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。今回の戦いをふり振り返り、更に上位大会に挑戦する部活動、総体に向け調整していく部活動と様々に再スタートします。生徒たちの今後の頑張りにご期待ください。(裏面に結果を掲載します。)

# ☆那珂大子地区新人体育大会結果(試合実施日順)

※青字は中央地区出場

## <男子バスケットボール部>

第1回戦惜敗

大子中35対82東海南中



## <女子バスケットボール部>

第2回戦惜敗

大子・生瀬中学校46対60那珂一中

## <野球>

第1回戦惜敗

大子中6-11那珂三中



## <剣道>

◆個人戦…3選手出場1~2回戦惜敗

## <男子ソフトテニス部>

◆団体戦 7位

◆個人戦…全8ペア出場

準優勝 ○○ ○・○○○○ペア

※中央地区出場

第3位 ○○○○・○○○○ペア

※中央地区出場



## <女子ソフトテニス部>

◆団体戦 6位

◆個人戦…全7ペア出場

第7位 ○○○○・○○○○ペア

※中央地区出場



## <サッカー部>

第3位 中央地区出場

決勝リーグ大子・山方中2-3大宮中 惜敗

大子・山方中0-2東海南中惜敗

## <卓球(特設)>

◆個人戦

第7位 ○○○○…中央地区出場



## <バレーボール部>

準優勝 中央地区出場

決勝戦 大子中0-2東海南中 惜敗



## この指とまれ!プロジェクト①

「種まきボランティア」活動を行いました。

9月11日(月)、「種まきボランティア」を実施しました。この企画は、現在みんなが笑顔になれる花を育てる「スマイルガーデンプロジェクト」の一環で、「春に向けて準備をしよう」という「この指とまれ!」の声かけを受けて、「やってみたい」と思う人が自主的に奉仕する活動です。

ボランティアの募集期間は3日間でしたが、8名の生徒が申し出てくれて、パンジーやビオラ、ネモフィラ、ノースポールの種をまきました。ボランティア生徒たちは、「芽が出るのが楽しみ」「卒業までに花が咲くといいな」「春の花壇も楽しみになった」など笑顔で話してくれました。

生徒たちが出て行く社会は変化の激しい時代です。自ら考え、「自分のため」「相手のため」「社会のため」になる「三方良し」の考え方をもって、幸せな人生を歩んでいってほしいと思っています。そのために、いろいろなことに興味をもって、気づき・考え・実行することが、大切だと思います。これからも、授業や行事、生徒会活動を通して「○○のために」という目的を共有しながら、自分のため、仲間のため、学校のため、社会のために活動をする場面を作っていきます。ご家庭でも役割を与えたり、社会活動に誘ったりしていただき、生徒には、「自分は役に立ってる」「～ができる」という自己有用感を味わってほしいと思います。



